

## 予算の執行とその概要

平成29年度の国の予算編成においては、600兆円経済を実現するとともに財政健全化を平成32年度までに達成することを目標に、誰もが生きがいを持って充実した生活を送ることができる一億総活躍社会の実現に向け、「新・三本の矢」に沿った施策を推進するとともに、2年目となる「経済・財政再生計画」に掲げる歳出改革を着実に推進しようとするものでした。

しかしながら、日本の経済再生に向けた施策の実施により、GDPは名目、実質ともに増加しており、就業者数の増加、賃上げなど、雇用・所得環境は着実に改善し、経済の好循環が生まれている一方で、個人消費や設備投資といった民需は持ち直しつつあるものの足踏みがみられるほか、少子高齢化による人口減少問題も深刻で、依然として厳しい状況が続いています。

こうした状況にあって、本市においては、引き続き「過疎対策事業（ソフト事業）」の活用を図りながら、地域の活性化や雇用対策、市民生活の安定化、将来のまちづくりにおいて成長力を高める施策など、持続性、独自性、発展性の観点から必要とされる事業に加え、第5次芦別市総合計画の目指す都市像である「人が輝き 豊かな自然と共生する 安全安心なまち」の実現を目指し、各種事業を展開するための予算を計上しました。

予算の執行に当たりましては、「芦別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく諸施策を推進するとともに、市政運営のテーマである「市民の福祉増進と財政健全化」に意を用いながら、地域の活性化と雇用の確保、生活環境の向上、地域の振興に資する社会資本整備事業（公営住宅整備、道路・河川整備、森林環境保全整備、教育施設整備）や福祉・医療・教育の充実に鋭意努めてまいりました。